



# 6月のほけんだより

いぬかいこども園  
2020年  
第3号

これから梅雨の季節になります。湿度・温度とも高くなり、また天気が変わりやすいこの時期は、もっとも体調を崩しやすい時期でもあります。そして食中毒の細菌も活動しやすく病原性大腸菌(O157)やノロウイルス感染症などに注意が必要です。乳幼児は病原菌に対する抵抗力が弱いので、大人と同じものを食べても子どもだけ食中毒を起こし、重症化しやすくなります。

つけない(清潔)増やさない(迅速・冷却)殺菌(加熱)させる対策を行っていきましょう。

新型コロナウイルス感染症にも油断ができませんが、こまめな手洗い、十分な休息をとり元気に梅雨の季節を乗り切っていきましょう。



コロナ感染症拡大防止の為、登園を自粛されていた子どもたちも多くいました。感染症は流行していませんが、日中の気温の変化で体調を崩しやすくなっています。熱や下痢、下痢によるおむつかぶれなど服薬や塗り薬持参の子どもたちが増えています。こまめな手洗いや衣服の調整などに気をつけていきましょう。



## 受動喫煙について



たばこを吸った後、肺の中に残った煙が喫煙後もしばらくは吐き出されているのだという。しかも45分間も口から有害物質が出続けるそうです。

喫煙後すぐの人が乗ったエレベーター、屋外の喫煙コーナーから風化25メートル以内、喫煙室に近いトイレ。思わぬ所に受動喫煙は潜んでいます。

喫煙・受動喫煙が死亡や疾病、傷害を引き起こすことは科学的に証明されているそうです。

4月から健康増進法が改正され、受動禁煙の防止が強化されたとのこと。たばこの害について今一度考えさせられますね。 令和2年5月20日 大分合同新聞 東西南北より

## 6月の身体計測

6月23日(火) 0、1、2歳児

6月24日(水) 3、4、5歳児



虫歯予防のおはなしをクラス別に行っていきたいと思えます。



## 「虫歯予防によく噛んで食べよう」

食べ物を口の中に入れてよく噛む事により唾液もたくさんでます。

【唾液の働き】

- 虫歯から守る
- 口の中を守る
- 消化を助ける



噛む以外に舌を前後に出したり、引っ込めたり舌先で円を描くように大きく回したり、他にも唾液が出るしんかせん(耳の下)、がっかせん(顎の下)、せっかせん(舌の下)などをマッサージすることにより唾液が出やすくなります。子どもたちとスキンシップをとりながらやってみるのはいかがでしょう。

寝ている間は唾液の分泌量が減るため寝る前の歯磨きは特に丁寧に行いましょう。

よくかんで食べてます♪

